

令和4年度小松市立松東みどり学園 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	いじめ・不登校の未然防止と早期発見		
	・いじめに対する積極的認知を行うために、職員会議で生徒指導主事が中心となって情報共有、共通理解を図る。 ・不登校の未然防止を図るために、生徒指導三機能を生かした魅力的な授業作りや、仲間を認め合うことのできる児童生徒会活動を展開する。 ・不登校傾向の児童生徒や欠席が2日連続で続く児童生徒へは、担任による定期的な家庭訪問を実施する。また、学期ごとに個人面談や友達アンケートを実施し早期発見に努める。		
特別支援教育	児童生徒理解を深め、特別支援教育の充実を図る		
	・児童生徒理解の会において、気になる子について共通理解するとともに支援について協議し、組織的な対応を行う。 ・校内委員会を定期的に行い、要支援児童生徒に対する効果的かつ早期の対応を検討する。また、関係諸機関との連携を密にし、より有効な支援のあり方を追求する。		
道徳教育	家庭と連携し、道徳教育の向上を図る		
	・家庭と連携した道徳教育の推進を目指すために、全学年における保護者参加型の授業公開をする。 ・個々での教材研究・授業実践となっているため、教材研究に関する相談の機会や職員間の参観の場を設けるなど、授業力向上につながる校内の仕組みづくりを進めていく。昨年度取り組んだ「授業構想シート」も活用していく。		
キャリア教育	キャリアパスポートの活用によりキャリア教育を推進する		
	・「めあてー活動ーふりかえり一次に生かす」の流れを定着させ、それぞれの学年の実態に応じて「キャリアパスポート」を活用しながら、自己の成長を見つめ、実感させていく。 ・各学期のめあてはフィッシュボーンを使って立てさせ、定期的に戻り、できたところや心がけたいことを意識させ、声をかける。 ・体験的活動や啓発的活動では、地域人材や卒業生を招き、効果的に活用する。		
保健健康教育	自分の健康や体を自分で守ろうとする意識を育む		
	・委員会活動など児童生徒が主体的に考えた企画を通して、児童生徒の運動機会を増やしたりよりよい生活習慣を目指す。 ・K's体操クラブの方やダンス講師など様々な分野の専門の先生をお招きして、健康や運動への職員の理解を深め、運動の楽しさに触れる授業が充実するようにする。		
特色づくり	9年間の学びの中でグローバル社会を見据えた教育を推進する		
	【みらい探究科】 ・各学年でのみらい探究科の学習の成果を、校内外に発信する。その際ステージⅡ以上の学年では英語で発表できるように取り組む。 【英語教育】 ・1・2年生のglobal timeから9年生の英語学習まで、全ての学年にALTが参加し、本物の英語に触れる機会を設け、進んで英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。		

学校関係者評価	
---------	--